新時代に向け団結誓う

平成最後の辞令交付式を挙行

美土里会

平成三十一年四月一日、デイサービスセンターホールにて辞令交付式が行われました。

今年度は看護師の高坂美知子さん、介護職員の和田優香さん、髙田睦月さんの三名が新しく仲間に。一人ずつ名前が呼ばれ盛田薫・総合施設長から辞令を直接手渡されると、皆一様に緊張した面持ちを見せていました。また、その他の職員にも辞令が交付されたほか、二名の職員が勤続十五年の表彰を受けました。

次いで新年度最初の職員全体会議を開催。この日は新元号が『令和』と決定した日でもありました。総合施設長より「新元号が決まった今日、新入職員を迎え新年度が始まりました。新たな気持ちで頑張って行きたい」と決意表明があり、職員一同、新年度に向けて気持ちを引き締めたようでした。

その後、各事業所より二〇一九年度の事業計画の説明がありました。特に特別養護老人ホームでは昨年度から力を入れ始めた、お看取り（ターミナルケア）について言及。「事業計画に明確に位置づけ、終の棲家としての機能を強化したい」との説明がありました。

新入職員からのあいさつの後、出席職員全員で写真を撮り会議は終了しました。

平成が終わり令和という新しい時代が幕を開ける今年度。職員一同気持ちを新たにし、利用者本位のサービス提供を常に心がけたいと思います。今年度も宜しくお願いいたします。

はんの木だより
2019 年 4 月
第７３号
社会福祉法人美土里会
青森県上北郡七戸町寒水 70-17
電話 0176(62)2761
http://midorikai-gr.or.jp

2019 年度美土里会事業計画（抜粋）

『忠恕の心』を念頭に、常に利用者の人格を尊重し、職員同士互いに支え合い、自己啓発に努め、職務に専念します。また、福祉の拠点としての認識を持ち、施設を広く開放し、地域社会、住民との交流を深めます。

1. 介護保険事業者として責任あるサービスをすることの自覚
2. 事業毎の目標管理と事業収支
3. 信頼に値する健全な経営
4. 感染症及び食中毒の発症・蔓延予防
5. 防災
6. 専門職としての職員の育成
7. 社会貢献事業の実施

ようこそ美土里会へ！ 新職員紹介

左から、髙田睦月さん、和田優香さん、高坂美知子さん

四月一日より三名の仲間が増えました。この機会に、色々聞いてみちゃいました！

①年齢　②血液型　③趣味
④特技　⑤好きな芸能人
⑥好きな食べ物　⑦嫌いな食べ物
⑧休日の過ごし方
⑨自分の好きなところ
⑩自分の嫌いなところ
⑪なぜ美土里会に就職したのですか
⑫美土里会の第一印象
⑬これからの抱負をお願いします

高坂美知子さん（元 公立七戸病院看護師長）

①六十歳　②O型　③スポーツ観戦・ショッピング　④特になし　⑤特になし（学生時代におっかけをしていたことはありますが…）　⑥お寿司　⑦特になし　⑧まとめて休みがとれた時は娘と小旅行　⑨年齢を重ねることで色々な面で『まあるく』なったと思います　⑩一言で表すのは難しいです　⑪今までの経験を活かした仕事がしたかったから　⑫職員の皆さんが明るく礼儀正しい　⑬ご利用者の方々やご家族が安心して過ごせるような環境作りに努めたいと思います

和田優香さん（青森県立七戸高等学校卒）

①十八歳　②AB型　③音楽鑑賞　④特になし　⑤ジャニーズWEST、BTS　⑥肉料理　⑦トマト・もち　⑧音楽鑑賞　⑨決断力がある（物を買う時）　⑩緊張し過ぎてしまうこと　⑪実習で美土里荘に行った時に、ご利用者との関わり方を見て「働きたい」と思ったからです　⑫職員の皆さんと話をしているご利用者が笑顔で楽しそうに会話をしている　⑬一日も早く仕事に慣れるように頑張りたいです

高田睦月さん（青森県立七戸高等学校卒）

①十八歳　②O型　③読書、音楽　④速く本を読める　⑤米津玄師　⑥いちご　⑦レーズン　⑧本を読む、音楽鑑賞　⑨吸収が早い　⑩マイペース　⑪先輩方の働く姿勢を見て尊敬し、誰かのためになりたいと思ったから　⑫先輩が疑問点などをわかり易く教えてくれ、優しい職場だと思いました　⑬早く一人前の職員になってご利用者のために働けるよう、精一杯努力します

職員コラム

毎号一～二名の職員を紹介しているこのコーナー、今回はグループホームで先頭に立ってご利用者のケアに当たっている主任の紹介です。

グループホーム櫟

宮沢　純子（みやざわ じゅんこ）

美土里荘に勤務して、はや十七年が過ぎました。介護職に興味を持ち始めたのは、祖父母が入所していた施設へ面会に行ったのがきっかけでした。職員の方々の動きを見ていて「やりがいのある仕事だなぁ」と思っていたところ、知り合いの紹介で美土里荘で働き始めることができました。

早番・遅番・夜勤と不規則な勤務ですが、家族の協力があったからこそ続けてこられました。感謝感謝です！

特養で五年、グループホームで十二年働いています。とにかくご利用者の笑顔を見たくて冗談を言ってみたり、一緒に唄ったりしています。「今日はどうやって笑わせよう」と考えながら仕事をするのがとても楽しいです。ご利用者、ご家族に『安心して生活できるところだなあ』と思って頂けるよう、努めていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

美土里会

四月一一日、美土里会職員で施設周辺の環境整備活動を行いました。特別養護老人ホーム美土里荘前から国道四号線七戸バイパスまでの国道三九四号線沿い約一・五キロの周辺のゴミ拾いを実施。ジュースやお酒の空き缶・空き瓶などの他、家庭用ゴミが袋ごと捨てられたりもしていました。また、包丁や鍋など「どこから来たんだろう…」と思うゴミも。約一時間半の環境整備で集めたゴミは、取りも取ったりゴミ袋二〇袋以上！職員は充実感を得るとともに、何だか悲しい気持ちにもなりました。地域をキレイに保てるよう、ご協力をお願いいたします。

デイサービスセンター梓

門付

今年もデイサービスに門付がやってきました。一月、大池・膝森町内会の皆さまによる門付が来所。無病息災を願いご利用者・職員みんなで、厄除けのため獅子舞に頭を下げました。昨年は災害の多い年でもあった事から、今年は何事もないことを願います。

レクリエーション

デイサービスでは、利用者に飽きずに参加してもらえるよう週替わりでレクリエーションを行っています。風船バレー・バトルサッカー・スカットボール等々、出来るだけ楽しみながら意欲的に運動できるものを多く取り入れるようにしています。ゲーム内容によっては、興奮しすぎるあまり、椅子から落ちそうになったり、隣の人の足を蹴りそうになるほど盛り上がります。これからも、ご利用者が無理なく楽しく体や頭を動かせるレクリエーションを考え、実施して行きたいと思います。

知っていますか？

新元号『令和』の由来

デイご利用者による一筆！

新元号の『令和』には、**人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ梅の花のように、日本人が明日への希望を咲かせる国でありますように**、という意味があります。

万葉集の序文の一部「梅花の歌」の『時に、初春の令月にして、氣淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す』が由来です。希望に満ちあふれた時代になって欲しいですね！

人生の最期を考えよう

お看取りについて知る

以前にもお知らせしている通り、現在特別養護老人ホーム美土里荘では『お看取り』に力を入れています。お看取りとは、「老化により人生の最期に向かっている時に、いたずらに死期を延ばす医療措置はせず、自然のままに死を迎える」支援のことです。「自然に逆らわない生き方」への支援とも言い換えられるでしょうか。

昨年十月頃から取り組み始めましたが、正直に言って最初は職員間でも「夜勤帯に亡くなったらどうしよう」「死の前に病院に行かないなんて…」という不安の声もありました。しかし、小野正人先生（今年四月より公立七戸病院院長）に昨年度よりご指導いただく中で徐々に職員の意識も高まり、現在では死亡退所されるご利用者のうち大半が美土里荘で亡くなられています。当初はご利用者の死に慣れていなかった職員でしたが、今では代わる代わる居室を訪れ「頑張りましたね」「お疲れさまでした」と声をかけたり、身体をさすったりなどの行為を自然と行えるようになりました。

年齢を重ね、寿命が近づくと人間の身体はあまり水や食べ物を必要としなくなります。そこで**「ご飯が食べられなくなった」「何とか栄養をつけなきゃ」「どうするかお医者さんにお任せします」**と言ってしまうと、入院して鼻から管が入り経管栄養（流動食）となってしまいます。しかし、身体は水分・栄養を必要としていませんから処理し切れなくなり、結果むくみが出たり心臓などの内臓に負担がかかり、かえって長く苦しむ事になると言われています。

一方、終末期に自然なままで過ごすと、脳内麻薬の一つであるベータエンドルフィンが出て、麻酔がかかったような極めて楽な状態で最期を迎える事ができるとされています。

実際にお看取り対応をさせて頂いた方のご家族の皆さまからは「自然に亡くなって良かった」「むくみも無くて、キレイな顔だった」「職員の皆さんが代わる代わる声をかけてくれてとても嬉しかった」などのお言葉を頂きました。

ご家族が元気なうちに、お話しができるうちに、「どんな最期を迎えたいか」を少しずつ話してみてはいかがでしょうか。お迎えの時の心づもりをしていれば、もしもの時に慌てる事も少ないと思います。

ご利用者の皆さまが自宅の次に長く過ごしているであろう施設で、自然に旅立ちの時を迎えられるよう、これからも努めて行きたいと思います。

編集後記

新元号が『令和』となり、新たな時代が始まります。世相・経済・政治・国民ニーズが大きく変わった平成という時代。私たち介護サービス業も、ますます変化していく多様性に対応しなくてはいけないと思います。まずは、この『はんの木だより』の文字を、より見やすいといわれるユニバーサルフォントにしてみましたがいかがでしょうか？これからも美土里会、そしてはんの木だよりを宜しくお願いします。（一）